とっとり県民カレッジ連携講座・とっとり県民の日関連行事

令和5年度鳥取県立図書館特別資料展

鳥取と新聞

―新聞が伝えるふるさと―

近代的な新聞が鳥取の地で発行されて、今年で150年を迎えました。

この資料展では、日本における「新聞」の歴史と、何を伝えてきたかについて、所蔵資料を通じて紹介します。新聞の役割や文字・活字文化について、考えてみましょう。

― 会 期 ―

2023
7/20㊍
▼
2023
9/13㊌

― 休館日 ―

7/31㊊　8/10㊍　8/31㊊

― 開館時間 ―

火～金
午前9時～午後7時
土・日・月・祝日
午前9時～午後5時

― 会 場 ―

鳥取県立図書館
2階 特別資料展示室

けんりつとしょかん

【主催】鳥取県立図書館　【後援】山陰中央新報社、新日本海新聞社（50音順）

参加無料
要申込

関連企画 講座

夏休み図書館まつり
「新聞の役割について考えよう」

- 日時　7月26日（水）午前10時～正午
- 会場　鳥取県立図書館2階大研修室
- 講師　新日本海新聞社　記者
- 対象　小学5年生から中学生

― 内容 ―

- 新聞記者のお話を聞こう
- 記事に見出しを付けてみよう
- 出発！オンライン印刷所見学
- 特別資料展解説（当館職員）

＊お申込みは、県立図書館まで。申込方法は、裏面に掲載しています。

展示内容

表面掲載画像「けんみん新聞」創刊号（館蔵）

▶日本における「新聞の誕生」

「よみうり」、瓦版、そして「新聞」へ。
江戸期の「新聞」や明治初年の冊子型「新聞」、情報の伝播の姿である「抄録」「日誌」を紹介します。

▶鳥取県の新聞のはじまり

鳥取の最初期の新聞媒体（鳥取県新報、米子新聞など）を紹介します。

▶鳥取と英字新聞

日本人が手掛けた英字新聞のはじまりには、鳥取県人にも関わりがありました。初代ジャパン・タイムズ社長山田季治の県人人脈が大きな役割を果たしました。後に社長となる、主筆頭本元貞の事績も紹介します。

▶新聞人と地域文化

鳥取の文化面で活躍した人物を中心に紹介します。

▶新聞製作の変遷

印刷機械の変遷と現在の印刷機の能力などを紹介します。また、マイクロフィルム（フィッシュ）、DB（検索体験）などの各種媒体とその特長も紹介します。

▶なつかしの記事

「オリンピック」、「わかとり国体」、「たまごっち」など、社会をにぎわせた社会事象について、当時の新聞記事を展示します。

[問合わせ・申込み]

鳥取県立図書館（担当：郷土資料課）
〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101
電話 0857-26-8155（代表）
ファクシミリ 0857-22-2996
メールアドレス kyodo@library.pref.tottori.jp

【本展の準備にあたり、ご協力いただいた機関】
山陰中央新報社
新日本海新聞社
鳥取県立博物館
鳥取市立中央図書館
米子市立図書館　（50音順）

✂キリトリ線

夏休み図書館まつり「新聞の役割について考えよう」（7月26日・水）参加申込書												
フリガナ											電話	
お名前	（学年　　）											
フリガナ											電話	
お名前	（学年　　）											

＊いただいた個人情報は、本講座に限り使用します。申込方法は、窓口・電話・ファクシミリ・メールです。